



くらはし

舞鶴市立倉梯小学校
学校だより夏休み号
令和8年7月17日

「ひまわりのように」

校舎横の花壇では、ひまわりがぐんぐんと背を伸ばしています。まだ大きな花は咲いていませんが、青空に向かってまっすぐ上へ上へと伸びる姿は、この一学期を力いっぱい歩んできた子どもたちの姿そのもののように感じます。

一学期を振り返ると、それぞれの学年や学級でたくさんの成長が見られました。

つくし学級では、みんなで大切に育てた夏野菜が大きく実りました。毎日の観察で見つけた新しい気付きから学習が広がり、生活に根差した確かな学力へとつながりました。

6年生。入学間もない1年生の手を取り、一緒に登校したり、休み時間にはよく遊んだりする姿が見られました。なかよしタイムの活躍も見事でした。リーダーという役割は、周りから見える以上に責任感やプレッシャーがあったことでしょう。それでも楽しい雰囲気児童会を前へ進めてくれました。

5年生。一泊二日の野外活動。みんなで声を合わせて力いっぱい漕いだカッター訓練。仲間と過ごした初めての夜。普段とは違う環境の中で、自分のことは自分でする力や、仲間と支え合う大切さを学びました。

4年生は学級会に挑戦しました。自分たちの学校生活を自分たちの力でよりよくするために話し合い、考え、決める経験を重ねました。主体的に学校生活をつくっていかうとする姿が頼もしく感じられました。

3年生は探究活動。フィールドワークを通して地域の謎や疑問を自ら見つけ、問題解決のために地域の方へインタビューを行い、学びを深めました。人との関わりの中で新たな発見を重ねる姿に、大きな成長を感じました。

2年生は、声をそろえて歌ったり、「スイミー」を元気いっぱいに音読したりしながら、ことばの力を伸ばしました。教室いっぱいに響く生き生きとした声が印象的でした。

1年生。元気な挨拶にいつも感心させられます。学校生活にも慣れ、毎日元気に過ごしました。幼稚園との交流では立派なお兄さん、お姉さんとして活動する姿も見られました。

こうして振り返ると、どの子も一歩踏み出す勇気を持ち、新しいことへのチャレンジを積み重ねながら大きく伸びた一学期だったように思います。

さて、いよいよ夏休みです。子どもたちが過ごす時間の中心は、学校から家庭や地域へと移ります。学校では経験できないことに挑戦したり、家族や地域の方との関わりを深めたりできる貴重な機会です。生活の中に生まれる「余白」を、ぜひ多くの体験や挑戦に生かしてほしいと思います。

夏休みの間に、学校のひまわりもきっと大輪の花を咲かせることでしょう。子どもたち一人一人にとっても、成長の実感にあふれた「満開の夏休み」になってほしいと願っています。

ひまわりをよく見ると、その花の大きさに比べ、意外なほど茎は細く、強い力が加わると折れてしまうこともあるそうです。子どもたちにとって夏休みは楽しいことばかりではありません。行動範囲が広がることで、思いがけない事故や危険に遭遇する可能性も高まります。SNSの利用については、先日PTAより「子どものSNS利用についての緊急アピール」が出されました。子どもたちが安全・安心に夏休みを過ごせるよう、ご家庭や地域の皆様には、引き続き温かな見守りと適切なお声かけをお願いいたします。

夏休み明け、一回りも二回りも大きく成長した子どもたちと再会できることを楽しみにしています。

校長 四方 直人